

# 学生一人一人に適した学び提供

## 年頭の抱負 尾池守 石巻専修大学長

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新型コロナウイルス禍を迎えた新年ではございますが、石巻専修大学は昨年と同様に十全な対策の下、原則対面での授業運営を継続する所存でございます。関連する皆様方のご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。



一人一人に適した学びを提供する「学生第一主義」の大学運営を行っています。

社会課題解決する人材を育成

本学は建学の精神「社会に対する報恩奉仕」の下、21世紀ビジョン「社会知性の開発」を理念として掲げ、「社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人材」を育成します。そのために、少人数教育ときめ細かな学生サポート体制で学生一

創立30周年を機に設定した第1次中期ビジョンでは、教職員が連携して、学生が学修した知識・技能を実社会の中で活用し、課題を解決する経験を保証することで、「社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材の育成」を目指しています。

時代の変化と社会の要請に対応し、独自性を発展的に実現するため、2021年4月に経営学部情報マネジメント学科を新設、昨年4月には理工学部教育課程新編として生物科学科と食環境学科を発展的に統合しました。また、機械工学科と情報電子工学科では学科横断型のカリキュラムやPBL型授業を取り入れ、情報に基づいてモノ

理工・経営・人間の3学部を基盤とした多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動や社会知性によって、地域社会の知的基盤を支えるとともに、その成果を世界に発信する「地域に根ざして世界に尖った大学」を目指していきます。本年も皆様方のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

# 石巻専修大学

石巻専修大学 広報係  
☎986-8580  
宮城県石巻市南境新水戸1番地  
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。  
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

## 22年度教員採用試験

### 理工、人間学部 7人が合格

本年度の教員採用試験に、理工学部2人、人間学部5人の計7人が合格した。氏名は次の通り(敬称略。いずれも4年次)。

【理工学部】  
佐藤裕介(宮城県小牛田農林高)▽今園椋太(福島県安積高)

【人間学部】  
鈴木知輝(青森県青森西高)▽阿部樹(岩手県専修大学北上高)▽和泉風弥(宮城県富谷高)▽大坂冬威(青森県青森北高)▽山口竜広(宮城県尚綱学院高)

生物科学科の今園さんは、思うように勉強がはかどらず焦ることもあったが、同じ目標を持つ仲間や先生の励ましを受けて合格することができた」と感謝の言葉を述べた。

尾池学長(右端)らに合格を報告した学生たち=12月13日



幼い頃からの夢をかなえた大阪さんは「合格できてうれしい。『できることからコツコツ』をモットーに、子どもの居場所となる安心できる学級づくりに力を注ぎたい」と笑顔を見せた。

4月から女川町内の保育園で働く大森さんは、「子どもたちだけでなく、保護者にも寄り添える保育士になれるように頑張りたい」と意気込みを語った。

### 尾池学長に報告

12月13日、教員採用試験および公務員保育士試験の合格者が尾池守学長に合格の報告を行った。今後の抱負を述べた学生たちに対して尾池学長は、「本学が輩出したい人物像は『社会の諸問題に、自分の役割を自覚して取り組むために、生涯にわたって学び続けることができる人』。ここで学んだことを教育現場でしっかり生かしてほしい」と激励の言葉を送った。

### 3Dプリンター受贈 機械工学科

本学は、株式会社向陽(仙台市)の「7SDGS私エンジニアリング(宮城県石巻市)から3Dプリンターの寄贈を受けた。今回の寄贈は、同社は、私募債発行に際し、

山本社長(左)と佐々木学部長。中央が3Dプリンター



12月13日に本学で贈呈式が行われ、向陽エンジニアリングの山本克己社長から佐々木理工学部長に目録が手渡された。

### 経営学科「地域ICT戦略論」特別講座 スポーツとの関わり方学ぼう



トップアスリートを例にスポーツがもたらす影響を解説した木村さん

経営学部経営学科では、昨今の地域部活動支援の在り方やデジタル化を考える「地域ICT戦略論」(担当・稲葉健太郎助教)を開講している。講義は、地域課題の解決の成長をサポートする

取り組みを行っている。12月9日には、MTXアカデミー(東京都)チーフトレーナーの木村匡宏氏による特別講座が開かれた。講義では、プロ野球・阪神タイガースの近本光司選手や原口文仁選手の事例を紹介しながら、トップアスリートが大切にしている四つのポイント「意図」「実践」「学び」「パッション」を解説。学生たちは、スポーツがもたらす体力への影響、強い言葉や暴力的な指導がもたらすリスクなどを学び、スポーツとの有意義な関わり方について理解を深めた。

### 中長期ビジョン

- (2020~2024年度)
- 1. 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する
- 2. 教育研究活動を充実させる
- 3. 学習の質を向上させる環境を整備する

時代の変化と社会の要請に対応し、独自性を発展的に実現するため、2021年4月に経営学部情報マネジメント学科を新設、昨年4月には理工学部教育課程新編として生物科学科と食環境学科を発展的に統合しました。また、機械工学科と情報電子工学科では学科横断型のカリキュラムやPBL型授業を取り入れ、情報に基づいてモノ

理工・経営・人間の3学部を基盤とした多様な学問領域を有する総合大学の特色を生かし、文理横断型の教育研究活動や社会知性によって、地域社会の知的基盤を支えるとともに、その成果を世界に発信する「地域に根ざして世界に尖った大学」を目指していきます。本年も皆様方のご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

学生に自身の体験を語るイリナさん(右から2人目)



### トークイベント「ウクライナを考える」イリナさんに戦時下の生活聞く

ウクライナから石巻市に避難しているイリナ・ホンチャロヴァさんを招いてのトークイベント「ウクライナを考える」が12月16日、本学図書館で開かれた。これは、人間学部人間文化学科の「異文化コミュニケーション論」の一環として、黒志帆美准教授が企画。当日は、目黒准教授が司会を、ウクライナ出身で仙台市在住の高橋旺礼南さんが通訳を務めた。

### 人間文化学科「異文化コミュニケーション論」

イリナさんはウクライナ北部チェルニヒウ州出身。2月24日に攻撃が始まり、多くのロシア軍が国境を越えて入ってきた」と、ロシアによる軍事侵襲が始まったときの様子を語った。ロシア軍に囲まれた生活が続くなか、「3ヶ離れた教会まで命がけで井戸水を取りに行った。怖いことにも次第に慣れてしまおう」と当時を振り返った。

「生きる権利を守るために、いろいろな国が力を合わせて活動することが大切だ」と訴えた。学生や教職員ら約50人が参加し、イリナさんの話を耳を傾けた。菅原拓実さん(人間3・宮城県岩ヶ崎高)は、「軍事侵襲による被害、攻撃を受けてからの生活の変化などを聞くことができ、ウクライナ情勢について改めて考えるきっかけになった」と話した。

**出願受付中**

★詳細はホームページで必ずご確認ください。

【一般選抜A日程】【特待生選抜】  
試験日 1/31※  
出願締切日 1/19※ ※消印有効

【一般選抜B日程】  
試験日 3/2※  
出願期間 2/6月~22※ ※消印有効

【大学入学共通テスト利用選抜B日程】  
出願期間 2/6月~16※ ※消印有効